

公文書館だより

2021.5.1
創刊号

公文書館だよりを創刊

～横手市の記録を未来に引き継ぎます～をキャッチフレーズに、昨年オープンした横手市公文書館。5月1日で開館から1年を迎えました。

秋田県内の市町村における公文書館の設置は大仙市に次いで2館目で、まだまだ公文書館のことをご存知ない方が多いことと思います。そこで、公文書館を身近に感じ利用していただくために「公文書館だより」を創刊しました。これから年2回、公文書館の活動や情報をわかりやすくお伝えしていきます。



公文書館ってどんなところ？



旧鳳中だったところが、「公文書館」になったって聞いたんですが、どんなところなんですか？
図書館とも違うんですね。

横手市の公文書館は、明治以降の行政文書や行政資料のうち歴史資料として重要とみなされる資料を保存している施設です。図書館のように、いろいろな本や資料があつて気軽に見たり借りたりするところではありませんが、申請していただければ保存している資料をご覧になることができますよ。



特に探している資料がなくても行ってもいいんでしょうか。

大歓迎です！
横手市の公文書館は重要な公文書を大事に保存していくことはもちろん、市民の皆さんが気軽に集えるような場所にしたいという思いで設置した施設なんです。

玄関を入ってすぐのスペースには「休憩スペース」を設けていて、ここでは飲食も可能ですので、散歩の途中に立ち寄って一休みされるのもいいかもしれません。学校帰りに勉強している生徒さんもおりますよ。また、1階には広報や自治体史、刊行物などの公開資料を配置しているコーナーもあって、これらは自由に手に取ってご覧いただけますので、気軽においでください。



それはいいですね～。
そこら周辺は静かで環境もいいし、天気のいい日に散歩がてら行ってみようかな。

「公文書館だより」の愛称募集！！

創刊に当たって「公文書館だより」の愛称を募集します。地域や公文書館をイメージできるような愛称の応募をお待ちしています。採用された愛称はホームページ及び次号で発表させていただきます。

応募方法：A4用紙に、「愛称」、「愛称の簡単な説明」、「住所」、「氏名」、「電話番号」を記載して、持参又は郵便、FAX、Eメールで下記までお送りください。（応募締切 令和3年5月末日）

送付先：013-0006横手市新坂町2-74 横手市公文書館 TEL 0182-23-9010 FAX 0182-23-9025
E-mail: somu@city.yokote.lg.jp

※採用された方には商品券(3000円)を贈呈します。

企画展を開催

秋田県第1位の農業産出額を有する横手市。昨年度は当市を会場に第143回秋田県種苗交換会が開催された年でもありました。館内では、「礎」～食とまちを支えた人々の姿～をテーマに、時代とともに移り変わる農の姿に焦点をあてて、当館が所蔵している写真や資料を展示しています。5月上旬まで展示予定ですのでぜひご覧ください。



『馬籍簿』
昭和20～30年代の馬籍簿。
当時は市町村役場で「牛馬籍」の登録を行っていました。



『第98回秋田県種苗交換会』
昭和50年11月5日～11月11日



【期間】
令和2年12月1日～令和3年5月上旬

「貸室・グラウンド」ご利用ください

公文書館には、会議などに利用できる貸室が2部屋ありますのでご利用ください。

	使用料(税込み)	面積
ルーム1	200円/時間	96㎡ (最大40人程度)
ルーム2	150円/時間	72㎡ (最大30人程度)



公文書館北側に隣接して、自由に利用できるグラウンドを整備しています。軽運動、グラウンドゴルフなどにお使いいただけます。

※ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

旧鳳中メモリアルコーナー

館内のホールには、前身である旧鳳中学校の関係資料をメモリアルコーナーとして展示しています。



公文書館ホームページのご案内



公文書の利用の仕方などをご案内していますのでご覧ください。

<https://www.city.yokote.lg.jp/>

↑ 詳細はこちらからご確認ください。